

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		ギリシア語 A Greek A			担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 堀川 宏		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	火5		配当学年	全回生	対象学生	全学向

### [授業の概要・目的]

本授業は、古典ギリシア語(紀元前5-4世紀のアッティカ方言)の入門的な授業である。アルファベットの学習からはじめて、名詞や動詞の語形変化を中心とする「文法」を、毎回少しずつ学んでゆく。その際、始めから文法の細則に目を向けるのではなく、重要項目が織り成す大きな枠組みを捉えることを重視し、ギリシア語という言語を動かす仕組みを学んでゆく。

授業では主に基本文法の解説を行ない、その文法を記憶するためのなるべく「ギリシア的」な例文に触れてゆく。必要に応じて自習用の課題や確認テストを実施するが、いずれも平易なものなので、興味がある学生は臆せず履修していただきたい。また希望者には、成績評価とは別に追加の課題を出すことも可能である(ここまでやればギリシア語の「原典」を読んでゆく力を身につけることができるだろう)。

古典ギリシア語は、プラトンやアリストテレス、また「三大悲劇詩人」などの言語として、ヨーロッパ文学史上に燦然と輝く言語である。この言語を学習することは、古代ギリシアを生きた人々の「声」を聞くことに繋がるだろう。ぜひ多くの学生にこの「声」を聞いてもらいたい。

### [到達目標]

- ・ギリシア語で書かれた文を適切に発音できるようになること。
- ・平易なギリシア語で書かれた文を正しく解釈できるようになること。
- ・より発展的なギリシア語学習の基礎となる中核的な語彙と文法知識を獲得すること。

### [授業計画と内容]

以下のスケジュールに従って授業を進める。

- 第1回 文字・発音・アクセント
- 第2回 動詞の基本(語尾と人称・数)
- 第3回 名詞の基本(第1・第2変化)
- 第4回 形容詞の基本(性・数・格の一致etc.)
- 第5回 第3変化名詞、疑問代名詞と不定代名詞
- 第6回 前置詞句、人称代名詞
- 第7回 母音融合型の変化
- 第8回 能動態と中動態、比較級・最上級
- 第9回 さまざまな代名詞
- 第10回 関係代名詞
- 第11回 現在分詞、数詞の体系
- 第12回 現在分詞(つづき)、不定詞構文
- 第13回 非人称動詞
- 第14回 復習・まとめ
- 第15回 期末試験
- 第16回 フィードバック(詳細は授業中に連絡します)

-----  
ギリシア語 A(2)へ続く

## ギリシア語A(2)

### 【履修要件】

後期（ギリシア語B）も継続して履修することが望ましい。

### 【成績評価の方法・観点】

授業中に実施する「確認テスト」の得点（30％）と、「提出課題」の得点（30％）、および「期末試験」の得点（40％）の合算による。授業で説明した文法事項が身についているかどうかを、いずれも筆記試験の形式で確認する。

### 【教科書】

解説に必要なプリントなどは毎回の授業で配布する。

### 【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

### 【授業外学修（予習・復習）等】

予習は必要ないが、知識の定着（その度合いを随時「確認テスト」でチェックする）のためには相応の復習が必要である。具体的には授業で解説した文法事項を記憶して、それを定着させるための練習問題にあたることになる（問題は授業で配布する）。学生の能力にもよるが、毎回2から3時間ほどの時間を割く必要があるだろう。

### 【その他（オフィスアワー等）】

### 【主要授業科目（学部・学科名）】